

令和 5 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	A事業所のみを有する特定事業者
II 類	B事業所を有する特定事業者(III類の事業者を除く)
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名		大陽工業株式会社	
所在地		東京都品川区西五反田8丁目11番地21号	
事業者番号		0464	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)		3,272	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床 面積10,000㎡以上の事業所)			㎡
産業分類名 (中分類)		28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	
分類番号 (中分類)		28	
事業活動 の概要	事業内容		1. 高密度高多層プリント基板設計製造 2. 板金、塗装並びに医療用電子機器及び精密機器の組立 3. 微少電流センサー各種取扱いの代理店 4. デマンド・コントローラ「N a C o a (ナコア)」販売
	区分		企業
	前年度	資本金	300 百万円
		従業員数	332 人
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)			

（3）県内に設置している事業所

（自動転記）

事業所 種別	事業所 番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量 (kL)
A、Bテナント等事業所			
B、C事業所			
C	046401	大陽工業株式会社 羽生事業所	3,272
合 計			3,272

（4）公表方法

○	インターネット利用による公表	ア ド レ ス	https://www.taiyo-technologies.jp/
○	事業所での備え置き （複数可。書ききれない場合 は別様としてください）	閲 覧 場 所 1	大陽工業(株) 羽生事業所
		所 在 地 1	羽生市大沼2-47
		閲 覧 可 能 時 間 1	8:30～17:00(休業日を除く)
		閲 覧 場 所 2	
		所 在 地 2	
		閲 覧 可 能 時 間 2	
	その他		

（5）公表の担当部署

名 称 (複数可)		連 絡 先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	環境推進羽生委員会	048-565-1121	eco@taiyo-technology.jp
2			
3			

※ 事業者のアドレスとする（個人が特定できるアドレスは記入しないこと）

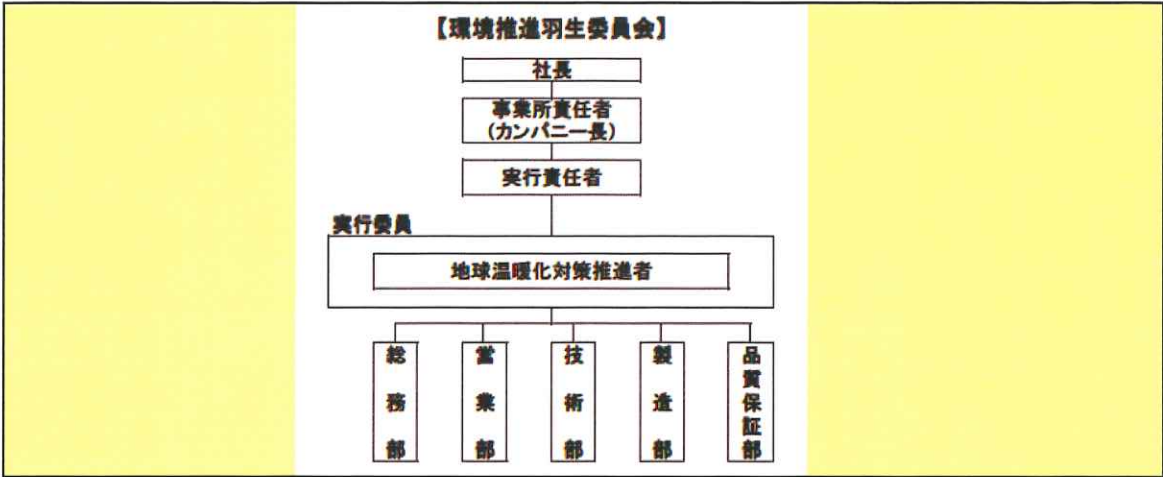
2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

当社は、ものづくりソリューションとして開発、製造及び販売・サービス等に関わる企業活動全ての領域において、環境に与える影響を継続的に改善するために、以下の方針に基づき環境マネジメントシステムを構築し、実施する。

（1） 重点施策として、以下の項目に注力する。

- ①廃棄物削減
- ②省資源
- ③省エネルギー
- ④環境汚染物質の削減
- ⑤製品含有化学物質の管理

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	6,130	6,308	6,459		
その他ガス					
温室効果ガスの 合計	6,130	6,308	6,459		

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

令和

5

年度

事業者番号

0464

事業所番号

046401

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	大陽工業株式会社 羽生事業所
事業所所在地	市区町村 羽生市
	字・地番 大沼二丁目47番地
産業分類名(中分類)	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
分類番号(中分類)	28
事業活動の概要	事業内容 製造品：プリント配線基板

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	【第3期計画期間】基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を15%とする。(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要		排出可能上限量(計画期間合計)	27,999	t-CO ₂	事業所区分 第2区分	
		削減目標量(計画期間合計)	4,941	t-CO ₂		

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	3,107	3,195	3,272		

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	6,130	6,308	6,459		
前 年 度 比 (%)	—	2.9	2.4		
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源CO ₂				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ふ っ 化 い お う				
	三 ふ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	6,130	6,308	6,459		

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	7.5960	6.7610	6.5177		
前 年 度 比 (%)	—	-11.0	-3.6		
活 動 規 模 の 指 標 単 位					
生産量	100m ²	807.00	933.00	991.00	

日本産業規格A列4番

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	生産量がH31年度：826（100m ³ ）と比べR2年度：807（100m ³ ）となり生産量が減った為、CO2排出量もH31年度：6316(t-CO2)、R2年度：6130(t-CO2)となり、生産量に比例してCO2排出量も減ったと考えられる。 その他の要因としては高効率空調機への更新及び照明のLED化により若干ではあるがCO2排出量が減ったと考えられる。					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	生産量がR2年度：807（100m ³ ）と比べR3年度：933（100m ³ ）となり生産量が増えた為、CO2排出量もR2年度：6130(t-CO2)、R3年度：6308(t-CO2)となり、生産量に比例してCO2排出量も増えたと考えられる。					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	生産量がR3年度：933（100m ³ ）と比べR4年度：991（100m ³ ）となり生産量が以前に比べさらに増えた為、CO2排出量もR3年度：6308(t-CO2)、R4年度：6459(t-CO2)となり、生産量に比例してCO2排出量も増えたと考えられる。					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	6,588	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位: t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量等	基準排出量(A)	6,588	6,588	6,588	6,588	6,588	32,940
	目標削減率の 緩和措置	中小企業等	中小企業等	中小企業等	中小企業等	中小企業等	
	トップレベル認 定						
	目標削減率(B)	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	
	排出上限量 (C = Σ A-D)						27,999
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))						4,941
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	6,130	6,308	6,459			18,897
	削減率 (F = (A - E) / A)	6.95%	4.25%	1.96%			—
	排出削減量 (G = A - E)	458	280	129			867
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	未実施			

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量 (t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
1	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	完成検査室 高効率空調機への更新	R2	R3	4.0
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	NC室 高効率空調機への更新	R2	R3	4.0
3	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	S R 製版保管室 LED照明への更新	R4		5.0
4	360700	ファン、ブローワー、コンプレッサー	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	55kw エアコンプレッサー更新（1号機）	R5		9.0
5	490200	その他	49_その他の削減対策	排出量取引の活用	R7以降		
6	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	工場動力No.3 トランス更新（1000KVA）	R7以降		10.0
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

